

楠田市長と市職員訪問団が首相官邸にて、「令和」ゆかりの地の取り組み報告と要望を行いました

新元号「令和」が発表されてから激動の日々でありましたが、それ以来初めて楠田市長と市職員訪問団が上京し、首相官邸にて安倍晋三総理大臣と菅義偉官房長官、原田義昭環境大臣に報告と要望をさせていただき機会を頂きました。

国会での激論直後の大変お疲れのところ、かつイラン外遊直前のご多忙のなか、貴重なお時間を割いていただき、本市への来訪数や経済効果などの報告をまずお聞きいただきました。

加えて、今回注目を頂いた大宰府政庁跡一帯は史跡地特有の規制により飲食店や売店、駐車場の設置

など収益事業が困難である実情を伝え、その規制緩和の必要性も訴えさせていただきました。

令和ゆかりの地となった本市の動向については折に触れて言及いただくなど既に関心をお持ちいただいております。楠田市長と市職員訪問団からの報告や提案に対し大変的確で有意義ないくつかのご指摘やご提案も頂きました。

地方の時代の牽引役として頑張るよう期待と激励も頂きましたので、しっかりと総理のご指摘やご提案に応え、今回の要望の一つであります総理の本市訪問もぜひ実現したいと思います。



原田環境大臣とともに取材を受けました



太宰府市公式記念グッズを手にする菅官房長官



安倍総理大臣に報告と要望

筑紫女学園大学との連携事業「キャンパス・スマイル」事業を行っています

本市では筑紫女学園大学と連携し、学校に行きたくても行けない、あるいは学校以外でも学習したいと思う子どもたちが安心して過ごせる居場所をつくり、子どもたちの自信とエネルギーの回復を目指す「キャンパス・スマイル事業」を行っています。

<サポーター養成講座>

本事業では、筑紫女学園大学の学生が、ボランティアスタッフ「スマイル・サポーター」となり、大学内の施設を利用して居場所づくりを支援します。

事業のスタートを前に、サポーター養成講座が5月13日(月)に同大学で行われました。講座には約60人の学生の皆さんが集まり、本市の不登校の現状や不登校支援の心構えについて学びました。学生の皆さんは、全3回の講座を受講したのち、伴走者として子どもたちをサポートします。



サポーター養成講座

<協定締結式>

5月28日(火)には、中川正法筑紫女学園大学学長と楠田市長により、本事業にかかる共同実施合意書締結式が行われました。中川学長からは「この事業が太宰府市活性化の一助となるとともに、学生の成長と自己実現につながることを願います」とお言葉をいただき、市長は「不登校の問題は全国的にも、本市にとっても喫緊の課題です。子どもたちと積極的に関わろうとくださる学生の皆さんに感謝します」と述べました。



協定締結式

国分小校区自治協議会 会長

後藤 裕二 氏



のんびり四王寺山へ、自然をたっぷり深呼吸。緑をかむ風と遊び、毎日の暮らしの中でゆっくりと野山の散策を楽しむことができる「だざいふ」に居を移し、平成の時代を過ごしてまいりました。

子どもたちの体力が、意外とひ弱な実態が明らかになっています。他人と比べる必要も無いのですが、人生を生きていくためには体力・運動能力は豊かなほうが良いに決まっています。なぜ体力・運動能力が落ちてきたのでしょうか。

昨今の子どもの遊びについていえば、遊ぶ時間が短くなった・テレビを見るなど室内の遊びが増えて戸外での遊びが少なくなった・遊びのグループがなくなりにくくなったなどいろいろな問題が挙げられますが……

ここでお父さん・お母さん・おじいちゃん・おばあちゃんの出番です。『おしくらまんじゅう』『乗り馬』『エスケン』『かげふみ』などの昔遊びを復活させようではありませんか。

高齢者の健康意識も年々高まっており、体を動かす基本となるウォーキングをはじめ「ラジオ体操・運動教室」など、子どもに負けないぐらい頑張っています。

遊びは、楽しさのためになされる、体力・運動能力を向上させる活動です。

熱中できる時間と仲間と空間を、そして、可能性をたくさん持った子どもたちをはじめとする市民のための、「市民の森」などの整備充実・環境醸成を進めていきたいものです。

自然が美しい史跡のまち「だざいふ」が大好きです。

まほろば市民大学 開講式

初心者向けの生涯学習講座である「まほろば市民大学」の開講式が、5月23日(木)にプラム・カルコア太宰府で開かれました。受講生は、落語コース、煎茶コース、写真コース、太極拳コースのいずれかに所属し、互いに交流し、自主的な運営を行う学校形式で進みます。



職員災害対応机上訓練

6月1日(土)、市役所において市職員による災害対応机上訓練を実施いたしました。今回の訓練は被災者支援や、豪雨災害が発生して被害状況が明らかになった後の復旧に向けての対応を机上で訓練するもので、災害時の対応能力を高めるとともに、各自の役割と連携を確認することを目的としたものです。



特集

私のだざいふ ……………2

市政ニュース ……………2~3

まちのトピックス ……………4~5

表紙関連

7月は同和問題啓発強調月間です
(人権政策課) ……………6

太宰府市プレミアム付商品券に
関するお知らせ ……………7
(産業振興課)

梅雨時期を前に大雨による災害に
備えましょう(その2)
防災だより……………8~9
(防災安全課)

中津市のくろかんくんから、
お手紙が届きました ……………10
(経営企画課)

10月1日から税務証明の取り扱い
を変更します ……………11
(税務課・納税課)

後期高齢者医療保険のお知らせ
……………12
(国保年金課)

市からのお知らせ ……………13~23

連載 ……………24~30

なんでも情報コーナー ……31~39

太宰府の文化財 ……………40
(文化財課)